

	意見・質問	回答欄
委 員 か ら の 意 見 ・ 質 問 そ れ に 対 す る 回 答 等	<p>○抽出案件</p> <p>①令和2年度 防災情報ネットワーク事業 「南近畿地区」防災情報ネットワーク接続整備工事</p> <p>・資格要件のある者が52者ということで十分な数だと思うのですが、そのうち1者ということで、理由としては他社メーカーとの接続ということで、多分動作保証という点で責任がもてるかどうかということかなと思います。それからもう少し一気になったのは、採算が合わないということですし、私もプロではないので中身についての吟味はもちろんできないけれども、52者でなかなか1者しか集まらない、採算が合わないという感じの設定ですね、予定価格の設定はどのようになっていたのですか。</p> <p>・性能保証ということですが、これを落とされている日本エレクトロニクスシステムズというのは、特殊な技能を有するメーカーではないのですか。</p> <p>・他社メーカーとは、どこですか。</p> <p>・元々のシステム構築が■■■みたいな大きな会社なのに52者のうち■■■製と繋げられる会社は1者しかなかったということですか。</p> <p>・ダウンロードしたメーカーの性能保証に関して合わないと言うことで、残りの8者の方について、■■■製の機器と接続した実績があるかどうかということをお調べにならないのですか。</p> <p>・採算が合わないと言うことですが、27,800千円というのは、この種の工事としては相当高額だと思うんですが、まず、それについてはどうですか。ネットワークの接続のためだけの28,000千円弱。</p> <p>・性能保証ができないとか、採算が合わないとか理由は判るんですけどね。一者になったのも仕方がないんですけど。せっかくダウンロード9者のうち残り8者がある訳ですから、その中で■■■の性能保証ができないというなら、その理由を聞いた方が良く思うんですね。知らないようなシステム開発会社だったら別として、■■■系なら近畿農政局を含めて農政関係の色々なところで落札していらしゃるでしょう。採算に関しては、単に採算が合わないだけじゃなくて、これだけ工事の規模が大きかったら、競争することによって落札価格がより下がると、そういうことがあっても良いと思いますし、競争できるように工夫することが、もう少しあっても良いかなと思います。</p> <p>・貸与資料の中には、その施設のメーカーなりが書いてあるのか。</p>	<p>・資料に基づき説明</p> <p>・予定価格については発注者として正当な利潤を含んだ標準積算システムなどを活用して見積歩掛りだとか見積資材をとっているんですけども、それも公表したうえでやっているということで、予定価格としては我々としてはルールに基づいたもので、適正であると思っています。</p> <p>・水管理機器メーカーの関連会社です。</p> <p>・五条吉野地区の水管理観測情報や気象情報をまとめている機械、水管理システムですが、元々ある水管理システムと自分のところの別の機械のメーカーを繋げるところが難しいということです。</p> <p>・ダウンロードされたのは9者です。関心をもたれたのが9者だったんですけども、その中にはいなかったんだと思います。</p> <p>・そこまでは調べておりません。</p> <p>・一応全部、見積をとってですね、適正な積算のルールに基づいてやっているので適正だと思います。</p> <p>・どういう仕様かは全部書いたうえで、何と何を繋げなければならないのかを書いてあります。</p>

<p>委員からこの意見を見質問それに対する回答</p>	<p>・そしたら業者さんは、閲覧することによって、どういうメーカーの繋ぎなのかが判るのですね。</p> <p>・関連する質問なのですが、どこが多分、一番採算が合わないのかということです。いろんなことを問われてやるメニューがあって、ソフト面、ハード面、両方必要かと。おそらく察するには、人件費が一番かかると思ったのです。その作業、普通の工事というよりは、ソフト面からみていかないといけないので、人員の確保とか、こういう作業ってとても時間がかかると思うので、そういう意味で採算が合わないと思われるかと思うのです。あとはこちらとして、何ができたのかと振り返った時に、どの部分にどの位、お金がかかるというのが、私、これを見て判らなかつたのですね。そこが、もう少し分析的に見えれば良かったのではないのかと思います。仕様書を見て、どの部分が一番お金がかかったのかを把握されていますかね。</p> <p>・そういうところを多分、分析していったら、この部分でお金がかかるなり、或いはヒアリングをする時に、どの部分で引っ掛かったのかが、もう少し分析的に質問ができると思います。</p> <p>②令和3年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 永源寺ダム下流右岸法面液状化対策検証業務</p> <p>・業者は三祐コンサルタンツさんですかね。プロポーザル方式ということで、どういう提案をだされたんですかね。項目は判るんだけど、それに対してどういうやり方で、この業務はなされたのか。</p> <p>・こういう水を抜くっていう工事は定期的にするものですか。</p> <p>・抽象的な形ではありますけれども、P240で技術、提案書の審査結果表というのがあります。この場合、こういった形で技術提案書の審査をした結果を提供するにあたって、まあ、評価件数ですね、合計点というのが水準としては御社の他の業務と比べて高いのか低いのかどんなものなのでしょうか。</p> <p>・何でこんな質問をしたかということ、1者でできて、絶対評価をしなければならない状況なので、この点数が、はたして妥当なのかということはどういうふうに審査をするのかと思ひまして。</p>	<p>・それは判ります。</p> <p>・積算については、把握しておりますが、今は手元にありません。</p> <p>・ありがとうございます。また次回こういう案件があった時に、アンケートを取ってますので、もう少し具体的に判るようにしたいと思います。</p> <p>・資料に基づき説明</p> <p>・資料P240に審査結果の大まとめ表を付けさせていただいております。具体の中身はP241以降、項目毎に提案内容が記載されています。例えば一番最初の技術者資格は技術士がやりますとか、過去の実績があるとか、こういった基準でやります。特定テーマといったところは、P246以降に地域の中身を理解していなければいけないという観点や、どのような解析手法を用いるのかなどが記載され、評価しています。</p> <p>・この法面のところなんですけれども、地下水位が高いと崩れ易い。そこで横にボーリングで穴をあけて、常に水を抜いて地下水位が上がらないようにしているんで、一度、ボーリングを打っておくと、その効果が発揮されれば、その穴が埋まらない限りは大丈夫です。いずれ、穴が詰まれば洗うとかフラッシングします。</p> <p>・業務によって色々あるのですが、平均点が何点というのはやっておりません。あくまで普通はというか複数者でできて、その中で順位の高いところとしていますので、標準だと何点というのはありません。</p> <p>・できるかどうかということですか。少なくとも最低限、仕様書に書いてある技術者が確保できていないとかであれば、ダメになると思うのですが、仕様書に書いてあることを満たすような中身であれば、合格と言うことになります。</p>
-----------------------------	---	---

<p>委員からの意見質問それに対して答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・点数の絶対評価というよりは、提案された内容を元に検証されているということですか。 ・もう一つは本来、せかっくのプロポーザル方式ですから、複数の検討案の提案なりアイデアが色々であるというのが望ましい。指導者もそれを想定してこの方式をとられたと思うのですが、振り返ってみて、例えば、それが1者ではなくて他の者が提案する状況を作ろうとすると、どのような対応が考えられますかね。 ・プロポーザル方式で1者しかないということで、複数の評価が望ましい訳ですが、そのために、例えば公告期間を延長するとか、業務期間を変えてみるとか、そういったことは難しいのですか。 ・プロポーザル方式にする要件というのは、ありましたかね。一般競争をやめて。 ・特殊な場所とか、特殊な技能を得るとか、個別のものですね。 ・これは随契ですか。 ・最初にプロポーザルで選んで、その者と随契でやるということですね。 ・ダム付近でということですかね。 ・崩壊したら当然、困りますもんね。ダムの基盤がやられると。プロポーザルの承認に、びたっとくるものがないかなと探してるんですけど。 ・プロポーザルが悪いなんて全然思わないんです。複数から集まってきて、業務の規模とか、お金を見ながら最後は随契というのは場合によっては、全然有効だと思うんですけども。プロポーザル、提案してきたのが1者だというのが、少し気になってるんです。そこで複数あって、最後に随契ならね。それはむしろ目的にかなうんですけども。提案がなかったということがね。 ・なるほどね。他の業務に人がとられたということなんですね。毎回おっしゃられることなんですけど、期間をみたり、業務の規模がそんなに大きくないので、第3四半期以降でいいと思いますけど、そういうのを見ながらいつ公募をかけるのかを考えていただければ良いと思いますけどね。 <p>③令和3年度 国営土地改良事業地区調査 「近江東部地区」永源寺ダム堆砂対策技術検討業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。 ・今回ですね、他の業務との兼ね合いから人員の確保が困難であったことから、有能なというか高度な専門知識をもった技術者は限られてると思いますので、その人達が忙しくなる前に、なるべく早期発注して、まず、我々の業務に取り掛かってもらうことが大事なかなと思います。 ・我々、年度で区切られていることもあって、その時に成果をだしていただくことが条件であり、いくらでもという訳にはいきません。 ・資料P28に入札形式について書かれております。比較的、一般競争をやるのは、業務の成果があまり変わらないようなもので、お金で決めるというものでして、業務の質を高めたいと思うようなものはプロポーザルでやっています。 ・はい。書いてるようなものは特にありません。 ・プロポーザルでやると随契です。 ・はい。 ・そうですね。ダムの堤体の直ぐ近くで重要ということでプロポーザルとしております。 ・高度な検討を行うとかですね、企画力、構想力が必要だとか、そういったものについてはプロポーザルで行っています。 ・提案がなかったというのは、高度な検討ができる人が、その瞬間はいなかったのかなと思っています。 ・はい。
--------------------------	--	--

<p>委員からこの意見・質問をそれに対して答える等</p>	<p>・永源寺ダムって何年ぐらいになりますかね。</p> <p>・第一の方ですよね。永源寺第一ダム。</p> <p>・もう50年ぐらいになりますね。堆積しますよね。排砂の穴はどこに開けるんですか。それを検討するんですよね。</p> <p>・その計画が、どういうのかな、ちゃんとしたものかどうかを検討しようということですね。</p> <p>・業務の内容なんですけれども、専門的なダムに関する知見というのが必要なタイプの業務内容なのですかね。</p> <p>・中身について提案する業務ではなくて、有識者の先生方がお答えになる、それも専門的な内容を取りまとめられると思うんですけども、その検討会の運営とか、実際のところは、確かに有識者の方がだす内容を理解しないと運営というのは、まわらないと。そういう意味では専門的な人員が必要かなと思ったところですけども、他方で検討内容そのものをだすっていう内容でもないんですね。もう少し提案があがっても、他の者も参加しても良いのではないかなと思ったところです。</p> <p>・委員会を作って、今年度中には、提案がでてくるんですか。</p> <p>・本体工事っていうのは、計画では予定とかは考えていらっしゃるんですか。</p> <p>・この業務をあと5年もされるということですか。</p>	<p>・資料に基づき説明</p> <p>・昭和48年です。</p> <p>・そうです。京大の総長の沢田先生が手がけられています。</p> <p>・写真でいいますと左側の山がありますけど、かなり上流から山の山腹にトンネルを掘りまして、ダムの下流の4・5百m下流の河川に直接だすということで、今時点での計画は、そういうイメージでございます。</p> <p>・そうですね。これは初めに申し上げましたように農水省で初の計画でございまして、やはり、専門家の先生方のご意見を非常に聞いてやらないと、我々、国営事業で、また失敗してはいけない部分がありますので。それと先生方の委員会がありますとか、アポとか、運営というところをこの社に任せるという業務です。</p> <p>・そうですね。我々、本来、別な業務で色々な検討をしている業務の中で、そういった委員会用、先生用にまとめる資料というのは、ある程度、ちょっと特殊化している部分がございます。これまたま排砂バイパスを造るんですが、ダムを造るときは、同じような検討会を幾度も重ねてやっていきます。それと検討会資料という部分では、中々これ、普通のコンサルでは難しい部分が多分にあります。</p> <p>・そうですね。こういった業務の中では、先程、言いました専門家の委員の先生の意見は、委員会とか検討会では結構構るんですね。そこをうちとして、やはり取りまとめていくという、いろんな意見の中で我々がそれを全てチェックして、それに対して回答するのは非常に難しい面がありますので、こういった者が先生方の意見をフィードバックして、もう少し整理していただいたり、メイン部分を担っていただいておりますので、我々の業務量が、こういう業務があったからこそ、あるからこそ、業務の低減にもなりますし、先生方のストレートな意見をうまく解説していただいている部分がございますので、そういった部分で、回収する業務という言い方が良いかもしれません。</p> <p>・これは令和3年度の検討業務ですので、今年度も引き続いて、次はステップアップした例えば解析であったり、そういったものの検討会を計画してございます。</p> <p>・今の計画でいきますと、あと5年後ぐらいですね。</p> <p>・調査ばかりではなくて、あと2年後には全体実施設計といまして、例えば、今考えている排砂バイパスの概要設計ですね。事業費、国営事業で立ち上げるための事業費の算定、そういった期間に2年から3年かかります。あと、同意も取っていきます。</p>
-------------------------------	---	---

<p>委員 か ら の 意 見 ・ 質 問 そ れ に 対 す る 回 答 等</p>	<p>・1者しか応募されてなくて、地理的に難しいということなんですか。委員会なんていうのは、工事と違って、水とかにも関係ないかなと思うのですが、委員会が2年か3年の期間になるので、難しいということですか。そういったことで、辞退されたということですか。</p> <p>・ダウンロードされた団体なり法人さんは、ダウンロードしてから内容をみて難しいなって判断されたってことですか。</p> <p>・みて、うちは難しいなってことですね。判りました。</p> <p>④令和3年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 大中の湖地区新田排水機場不動産登記等業務</p> <p>・前提についての質問をしていきます。今回、資料P304に概要をいただいております。これは担当される方が現地へ行ったりとか、或いは現地の土地環境を調査して、更に単に土地関係を整理すると見てたんですけども、境界に接するようなその間の調整も業務に含んだものなんですかね。</p> <p>・まあ、普段こういう事業をみていて、とてもこの金額ではできないんじゃないかなと思っていました。</p> <p>・成果物の納入時期は書かれてますか。</p> <p>・特に結果に関しては、問題ないということで、そういう理解でよろしいです。</p> <p>・大中の新田排水機場の用地施設の中に、国有地と土地改良区の土地が混在してたってことですね。</p> <p>・排水機場の中の改良区の土地を国が買う代わりに、どこか別の土地を交換したということですね。</p>	<p>・他の業務を既に受けていて、しかも高度な能力が必要で、非定形的な形でございまして、なかなか、それをこなせる人材が少ないということです。また、時期が遅かったのは、委員会をやるとうことが決まったのも、色々な現状をつめていく中で、業務内容が決まったので、最初から全部を決めてという訳ではなかったというものです。</p> <p>・そうだと思います。発注予定情報では、基本的に件名ぐらいしかでないので、中身を見ないと、何をするのか判らない訳です。</p> <p>・ちょっと一点なんですけど、最近、働き方改革ですね、コンサルティングも上半期に沢山受注をすると下半期には、やはりとれないという状態が起こっているのは確かでございます。勧告を受けた業者もあると聞いております。今後の業務については、我々もできるだけ早くいい業者をつかまえていくという、更にそういったところで競争性を高めていくというようにしていきたい。働き方改革の影響が今後どういったところで現れてくるのか懸念しているところでございます。</p> <p>・資料に基づき説明</p> <p>・錯綜しているのは土地改良区所有の土地ということで、我々が事業をした後に施設を管理していただく団体になります。権利調整は行っておりますので、一般の地権者とのやりとりよりは比較的順調にできると思います。</p> <p>・普通であれば低入札なら調査をしてやるんですけども、今回は対象外です。ただし、調査基準価格を下回った場合には、管理技術者は常に業務について下さいというお願いしております。その上で、確約して参加されたということですよ。</p> <p>・工期内には、成果物をいただいていると思います。</p> <p>・そうですね。特に問題なく成果を得ております。</p> <p>・そうです。</p> <p>・元々あったものを事業により移転したため、その元々の土地であったり、新しいところに改良区の土地があり、そこを交換して整理したものです。</p>
---	--	--

<p>委員からの意見・質問それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排水機場は元々、別のところにあったということですか。 ・土地家屋調査士さんに不動産登記を委託するという事で、社団になってますけど、この社団が土地家屋調査をするところなんですね。 ・参考までに、この場合の予定価格は、どういう方式で設定するものなのですか。個別に業務を積算していつて予定価格を作成するのですか。 ・一般社団法人を選ばれた理由は何かあるんですか。普通にやっけて安かったからですか。 ・みどり公共嘱託登記土地家屋調査士協会とは、どんな協会なんですか。 <p>【以上】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。事業で古いものを取り壊して、新しいものを造ったものです。 ・はい、そうです。 ・我々の方で土地改良事業用地調査等請負事務処理要領というものがございまして、それに基づいて予定価格を算定しております。 ・そうです。価格競争です。 ・土地家屋調査士の集まりです。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>意見の具申、勧告</p> <p>なし</p>	<p>なし</p>
<p>[これらに対し部局長が講じた措置]</p>	<p>該当なし</p>	<p>なし</p>